

第3学年 道徳学習指導案

日時 平成16年9月30日(木) 5校時
学級 男子15名 女子17名 計32名
指導者 佐々木 誠子

- 1 主題名 みんなでつかうもの(4-(1) 公德心、規則尊重)
- 2 資料名 「水飲み場」(出典:「3年生のどうとく」文溪堂)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

中学年の内容項目4-(1)は、「約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ」となっている。この内容は、低学年の「みんなが使うものを大切にし、約束やきまりを守る。」を受けて、公德を守り、進んで公共のために尽くそうとする態度を育てるものである。この内容項目はさらに高学年の「公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にし進んで義務を果たす。」につながっていく。

公德心とは社会の一員としての自覚に基づき、公共の利益や公德を守ろうとする心である。人が社会でよりよく生活するには、ルールを守り、公共物を大事にし、ほかのひとに迷惑をかけないことが大切である。また、規則を守り、公共物を大切にすることが、誰にとっても今より、生活しやすくなることに気付かせ、そのことを通して、みんなのため社会のために役立とうとする意識を高めたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

子どもたちの生活の様子をみると、学校生活にも慣れ、きまりを理解し、守ろうとしているが、「守らないと先生にしかられるから。」といった動機もあり、「なぜ、きまりがあるのか」「どうしてまもらなくてはいけないのか」といったことに意識を向けていないことが多い。また、自分の都合のいいように状況を捉えてしまい、きまりを変えてしまったり、守れなかったりする場面もある。

そこで、きまりは誰のためのものなのか、みんなで使うものをどう使えばいいのか、気もちよく使うために自分ができることは何かを考えさせていく必要がある。

(3) 資料について

水飲み場が汚れていて水が飲めないよしおは教室へもどろうとする。そこへひろ子が通りかかり、自分が汚したわけでもない水飲み場をきれいにし始めた。水飲み場が汚れていて水が飲めず、いらだっていたよしおだが、ひろ子のさわやかな行動によって、自分のすべきことに気付く。やがてひろ子がきれいにした水のみ場で二人は水を飲み、さわやかな気持ちになるという資料である。ひろ子の行為でよしおの気持ちが大きく変化したことを通して、自分が汚したのではなくても、自分たちが使う水飲み場は自分たちできれいにすることや、みんなのために行動する気持ちよさを気付かせることに適した資料である。

(4) 指導にあたって

導入の段階では、学校のなかにある公共の場所について確認し、公共物が乱雑に扱われている写真から感じることを発表させ、本時の価値への方向付けを図る。

展開前段では、汚れた水の入った水槽を具体的に提示し、ひろ子の行動に対しての驚きや疑問をよしおが感じたことを共感させる。その後、水槽をきれいにして見せることで、公共物がよごれているのは自分のせいではないからそのままでもいいという自分本位の考えではなく、自分たちが使うのだから自分たちできれいにすると気持ちよく生活できるということに気付かせ価値に迫りたい。

展開後段では、書く活動を行うことで自らの生活体験を想起し、ねらいとする価値を今までの自分と照らし合わせて考えさせる。

終末では、ひろ子の行為は、自分だけでなく、クラスの多くの友達も行っていることを確かめ、一人一人のなかにひろ子の心があることに気付かせ、自信につなげたい。

4 本時の指導

(1) 本時の目標

公德を守り、進んで公共のために尽くそうとする心情を育てる。

(2) 本時の展開

	学習の流れ	予想される児童の反応	指導上の留意点（・）と評価（◎）
導入	1 本が乱雑に入っている本棚や、校庭に転がっているボールの写真を見て、感じたことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本棚が整理されていない。 ・ 本をきちんと返さないのは誰だろう。 ・ どうしてきちんと返さないのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共物が乱雑に扱われている写真を提示し、価値への方向付けを図る。
展開前段	2 資料「水飲み場」を読んで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 水を飲もうとして顔をしかめたよしおは、どんなことを思ったでしょう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> よしおが「きたないよ」といったのにごみを取り続けたひろ子の様子を見てよしおはどんなことを心の中でつぶやいたでしょう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ひろ子と水を飲みながらよしおは、どんなことを考えたでしょう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ きたない水飲み場だな ・ 誰がよごしたんだろう ・ こんなにきたない水飲み場では水が飲むきがしない。 ・ 別な場所で飲もう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ひろ子は汚いと思わないのか。 ・ 自分が汚したわけではないのだからきれいにすることはない。 ・ 水飲み場をきれいにしてえらいなあ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水飲み場をきれいになると水がおいしいな。 ・ こうすればきれいにな 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れた水の入った水槽を提示し、汚れた水飲み場を見て水を飲みたくない気持ちになったよしおに共感させる。 ・ 実際に水槽をきれいにする動作を見せることでひろこの行動に対しての驚きや疑問をよしおが感じたことを共感させる。 ・ 水槽がきれいになったことから、自分がよごしたわけではないが、きれいになると気持ちがよいことに気付かせる。 ・ 自分が汚したわけではな

		<p>るんだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 汚いところをきれいに してえらいな。 ・ これで次の人も気持ち よく飲める。 ・ 自分が汚したわけでは ないけれどきれいにす るときもちがいいね。 	<p>いけれど水飲み場をきれ いにすると気持ちよくお いしい水が飲めるよう になったことに気付かせ る。</p>
	<p>にっこりとわらったひろ子さんによしおはな んといったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手伝わなくてごめんね。 ・ あっという間にきれい になったね。 ・ 今度汚くなっていたら つぎは僕もするよ。 ・ これで次の人も水がの めるね。 ・ 自分が汚くしたわけ ではないけれどきれいに すると気持ちがいい ね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなのためにきれいに したひろこの気持ちがよ しおに伝わったことに気 付かせる。
展 開 後 段	<p>3 本時の価値に照らし て、これまでの自分の 生活を振り返る。</p> <p>私たちは次に使う人のことを考えて、み んなで使うもの（場所）を使ってきたか どうか、思い出してみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の人が気持ち悪いと 思ってトイレが汚れて いるとききれいにし た。 ・ ボールを片付けるのは 面倒くさくてやりたく なかったが、これから はやろうと思う。 ・ みんなが使いやすいよ うに考えて本棚を整理 した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書く活動を通して自分 の生活体験を振り返ら せ、ねらいとする価値を 今までの自分に照らし 合わせて考えさせる。 <p>◎本時の価値に照らして自 分の生活を振り返り、考 えることができたか。</p>
終 末	<p>4 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスの一人一人も使う ものを大切にしている様 子を知らせることで、ひ ろ子のような心をもっ ていることを伝える。

5 板書計画

みんなで使うもの

水飲み場 写真 写真

挿絵

きたない水飲み場だな。
だれがよごしたんだろう。
きたないから飲む気がしない。
べつな場所で飲もう。

ひろ子
みずをとめた。挿絵
ごみをすてた。
水を流した。

よしお
きたないと思わない
のか。
自分はよごしていな
いの。

水を飲んだ

水がおいしい。
次の人も気持ちよい。

挿絵

きれいにしてくれて
ありがとう。
次はぼくがきれいにするよ。
これで次の人も気持ちよく
使えるね。

資料分析「みんなで使うもの」水飲み場

場面	登場人物の心の動き	子どもの意識	発問の意図・発問
①汚れた水飲み場を見たよしおは水を飲むことをやめ、教室へもどろうとする場面	<ul style="list-style-type: none"> ・きたない。 ・だれがやったのか。 ・水が飲めない ・別な場所でのもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きたない水飲み場だな ・誰がよごしたんだろう ・こんなにきたない水飲み場では水が飲む気がしない。 別な場所で飲もう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れた水飲み場を見て水を飲みたくないう気持ちになったよしおに共感させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>水を飲もうとして顔をしかめたよしおはどんなことを思っただろう。</p> </div>
②ひろ子がやってきて、水飲み場をきれいにする様子をよしおが見つめる場面	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が汚くしたのではないのに、どうしてきれいにするのだろう。 ・ひろ子は汚いと思わないのか。 ・驚いた ・ひろ子はきれいにしてえらいなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が汚したわけではないのにどうしてきれいにするんだろう。 ・ひろ子は汚いと思わないのかな ・きれいにしてえらいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろ子の行動に対しての驚きや疑問をよしおが感じたことを共感させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>きたないよといったのにごみを取り続けたひろ子の様子を見てよしおはどんなことを心の中でつぶやいたでしょう。</p> </div>
③きれいになった水飲み場でおいしそうに水を飲むひろ子を見てよしおも水を飲む場面	<ul style="list-style-type: none"> ・水がおいしいな。 のめてよかった。 ・ひろ子がきれいしてくれたから水が飲めるのだな。 ・汚いところをきれいにしてえらいなあ。 ・おこってばかりではずかしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水飲み場をきれいにすると水がおいしいな。 ・こうすればきれいになるんだね。 ・汚いところをきれいにしてえらいな。 ・これで次の人も気持ちよく飲める。 ・自分が汚したわけではないけれどきれいにすると気持ちがいいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がよごしたわけではないが、きれいにすると気持ちが良いことに気付かせたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ひろ子と水を飲みながらよしおは、どんなことを考えたでしょう。</p> </div>
④水を飲み終わり、よしおの顔を見てにっこりわらうひろ子を見る場面	<ul style="list-style-type: none"> ・汚いところに手をいれてえらいな。 ・僕もやればよかった。 ・次は自分でやろう。 ・これで次の人も気持ちよく使えるだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あっという間にきれいになったね。 ・今度汚くなっていたら次は僕もするよ。 ・これで次の人も水がのめるね。 ・自分が汚くしたわけではないけれどきれいにすると気持ちがいいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなのためにきれいにしたひろ子の気持ちがよしおに伝わったことに気付かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>にっこりとわらったひろ子さんによしおは何といったでしょう。</p> </div>